

平成30年度 信州大学 全学教育機構 公開講座

土曜市民教養教室



平成30年度は12コースを開講致します。多くの皆様のご参加をおまちしています。



コース1	：食からみる脳の健康づくり	p. 1
コース2	：『くまのパディントン』を英語で楽しむ！	p. 2
コース3	：数字を読む技術 アナログ脳を活性化しよう	p. 3
コース4	：「IoT時代」の認知心理学を考える～心理学を日常生活に活かす～	p. 4
コース5	：90分の宇宙旅行～信州発宇宙の果てまで～	p. 5
コース6	：「シンデレラ」の秘密	p. 6
コース7	：短編小説の名作に酔う	p. 7
コース8	：日本語に関して学び日本語教育に親しもう	p. 8
コース9	：天草版平家物語を読んで往時の日本語を知ろう	p. 9
コース10	：入門中国語会話	p. 10
コース11	：ニュースで学ぶ中国語(中級)	p. 11
コース12	：北部フォッサマグナ、千曲川・信濃川流域の地質と災害を学ぶ (大塚コース)	p. 12

↑【注意】「コース12 大塚コース」の申込方法は他のコースと異なります。
(詳細はp.14)

受講料・開講日時 of 日程表・開講場所	p. 13
申込方法	p. 14
問い合わせ先等	p. 15
過去の開催歴	p. 15

コース1：食からみる脳の健康づくり

講師 有路 憲一（信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 准教授）

今年度も第1回～第5回と食と栄養の観点から、脳の健康づくりについて、一緒に学んでいきましょう。「学ぶ」こと、それは何よりも脳にとって良い刺激となります。多くの方々のご参加を心待ちしております。

<昨年度 29 年度の本講座に参加された方へ>タイトルが示す様に、今年度の内容は昨年度の内容と多々重なりますが、最新の新しいことも足してまいります。昨年度の内容をもう一度復習してみたいなど、引き続き本講座にご興味ございましたら、ぜひご参加してください。

第1回：4月21日（土） 13:00～14:30

どのように食べるか(1)―食べ方と栄養

脳の健康づくりのためには「何を食べるか」の前に、「どのように食べるか」という食べ方(食習慣)に関心を向けることは(忘れられがちですが)、肝要なことです。

2回にわたり、食を通じて脳が“元気”でいられるためには、どのように食べると良いのか(食習慣)を確認します。

第2回：5月19日（土） 13:00～14:30

どのように食べるか(2)―食と時間

第1回に続き、「どのように食べるか」についてです。特に、今回は、“時間”に注目します。

食べる時間・リズム・食事のタイミングなどの食の“時間”が、食・栄養に、そして脳の健康に深く関わっていることを学びます。

第3回：6月9日（土） 13:00～14:30

何を食べるか(1)―脳の基本となる栄養

脳の健康づくりのためには「どのように食べるか」の後は、「何を食べるか」についてです。

脳はどのような栄養素をどのようにエネルギーにしているのかなど、脳を動かす基本的な栄養について学びます。

第4回：6月30日（土） 13:00～14:30

何を食べるか(2)―脳の働き低下を防ぐ栄養

第4回の脳の健康づくりのためには「何を食べるか」では、脳のはたらきの低下を防ぐための栄養、つまり惚けないための栄養についてです。どのような栄養が/何を食べると認知症予防になりうるのかを、近年新たに分かってきたことを交えながら、学びます。

第5回：7月21日（土） 13:00～14:30

何を食べるか(3)―落ち込みを防ぐ栄養

最終回は、脳の落ち着き・リラックスについてです。健康とは、心身ともに健やかなることです。心＝脳と考え、心の落ち着きをもたらすのも脳と言えます。脳が落ち着くとはどういうことなのでしょう？気分が低下してしまううつ病を防ぐ食を学びながら、穏やかな脳のコツを学びます。

コース 2 : 『くまのパディントン』を英語で楽しむ！

講師 近藤 富英 (信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 教授)

英国作家、マイケル・ボンドの『くまのパディントン』(A Bear Called Paddington)を英語で楽しめます。併せて物語の舞台となるロンドンの最新事情をご紹介します。英語は分かりやすく解説しますので、英語が苦手な方も歓迎します。なお、今回は第5章から読みますが、お話は独立していますし、必要に応じて復習をいたしますので、初めての方の参加も大丈夫です。

第1回：4月21日(土) 10:30～12:00

A Bear Called Paddington を読む (1)

ロンドンで古ぼけた帽子をかぶった小さなクマを見つけたら、きっとパディントンに違いありません。前回に引き続き、本書の第5章から読み始めます。第5章はパディントンと「名画」のお話です。なお、ロンドンの主要な美術館や博物館は入場無料ですが、いくつかのミュージアムについてもご紹介します。1回でお話の半分を目途にしますが、ようすを見ながら進度は調節します。

第2回：5月19日(土) 10:30～12:00

A Bear Called Paddington を読む (2)

毎日が冒険のパディントンですが、ブラウン一家の近くのポートベロー・マーケットが紹介されています。ロンドンでの楽しみのひとつにマーケット巡りを上げる人も多いのですが、いくつかのマーケットについてご紹介します。毎回、CDを聞いて英語の音声にも慣れましょう。

第3回：6月9日(土) 10:30～12:00

A Bear Called Paddington を読む (3)

第6章では、パディントンはブラウン一家と演劇を見に行きます。演劇を本当のお話だと勘違いしたパディントンは楽屋に乗り込みます。パディントンはいつも失敗をしますが、最後には必ず無事に解決するのは、純粋な気持ちから出ているからでしょうか。ロンドンの劇場の中心部であるイーストエンドもご紹介します。毎回、英文の注釈も配布します。

第4回：6月30日(土) 10:30～12:00

A Bear Called Paddington を読む (4)

引き続き、パディントンの第6章を読み進めます。ロンドンの劇場の様子や出し物やその特徴もご紹介します。

第5回：7月21日(土) 10:30～12:00

A Bear Called Paddington を読む (5)

視聴覚教材も使用しながら、引き続き英文を楽しみます。毎回、簡単な面白クイズも行います。読んだ内容や英文にまつわるロンドン事情のご紹介もして、講座のまとめをいたします。

お願い：以下の本をご用意ください。

○ 書名：A Bear Called Paddington (Paperback)、著者：Michael Bond、出版社：Harper Collins Ltd.

※ 改定された時期等が異なるため、上記と語彙や表現が少し異なる箇所がありますが、以下の文庫本サイズのものでもいいです。『くまのパディントン A Bear Called Paddington』(講談社英語文庫)

(入手が困難な場合は、問い合わせ先(学務部学務課)を通じて講師に相談して下さい)

コース3 : 数字を読む技術 アナログ脳を活性化しよう

講師 鈴木 治郎 (信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 教授)

第1回: 4月21日(土) 10:30~12:00

私たちはアナログ脳をもっている

日常のニュースなどにはやたらと細かい数字が表れます。ですが詳しく表現することが正しいのでしょうか。一方で私たちの脳には数値をアナログ量として把握する能力が生まれつき備わっています。これらの話題を通じて、本講座への全体像をお伝えします。なお本講座で扱う話題の多くは、2016年までの「数字をかしこく読もう」と重なっています。

第2回: 5月19日(土) 10:30~12:00

アナログとデジタル

私たちの周りはデジタル機器であふれかえっていますが、デジタル機器すなわちデジタルな扱いではありません。そこで数字の見方の観点からデジタルとアナログの違いを考えます。

第3回: 6月9日(土) 10:30~12:00

不明な数字を推理する

行政側の提供する数字などではもっともらしい理由とともに詳しい情報が提供されます。しかし、とくに将来に関する事などがそんなに詳しくわかるのでしょうか。ここではフェルミ推定と呼ばれる常識程度で予測を可能にする推定技法を練習します。

第4回: 6月30日(土) 10:30~12:00

不確実さを推理する

たとえ検出率99%の検査であっても誤判定は結構起きます。こうした不確実さを判定するにはベイズ推定という考え方が有効です。この方法を中心に不確実さとの付き合い方を考えます。

第5回: 7月21日(土) 10:30~12:00

全体のまとめ

4回にわたって触れてきたいろいろな見方を踏まえて、改めてニュースなどの数字との付き合い方をみなさんと一緒に考えます。

コース4 : 「IoT時代」の認知心理学を考える

～心理学を日常生活に活かす～

講師 藤川 真美乃 (信州大学 総合人間科学系 総合情報センター 助教)

IoT (Internet of Things) とは、モノのインターネットのことで、その名の通り、現代は多くのモノを通して「つながる」世界になりました。しかし、利便性が高まる一方、ヒューマンエラーなど、人間の性質に基づく問題もさまざまなところで起きています。そこで、人間の思考にはどのような特性があり、どのような誤りが起きやすいかについて認知心理学の知見を中心に、クイズやパズルを用いて学習し、日常生活との関連を考えます。

第1回：4月21日 (土) 15:00～16:30

認知心理学とは ～知覚・注意のエラー～

コンピュータの発展に伴い、情報科学の考え方が心理学に取り入れられたのが認知心理学です。初回はその導入と、知覚・注意について学習し、「なぜ注意がそれてしまうことがあるか」を見ていきます。

第2回：5月19日 (土) 15:00～16:30

記憶とワーキングメモリ ～記憶のエラー～

記憶にはその容量や機能に様々な種類があります。生活の中で経験した出来事の記憶のされ方や、その限界について学習し、「なぜ偽って記憶されてしまうことがあるか」を見ていきます。

第3回：6月9日 (土) 15:00～16:30

思考と意思決定 ～推論のエラー～

人間の推論には、速い直感的な思考と、遅い塾考型の思考があります。推論ゲームなどを楽しく体験しながら、推論についての最新の研究事例なども紹介し、「なぜ合理的でない選択をしてしまうことがあるか」を見ていきます。

第4回：6月30日 (土) 15:00～16:30

進化と心理～私たちはどこから来たのか～

第3回までに学習した、知覚・記憶・思考・意思決定についてふりかえり、人間行動進化学の知見も紹介し、私たちの様々な認知の原点を学習します。「そもそもなぜ私たちは、コンピュータのように判断しないのか」を一緒に考えます。

第5回：7月21日 (土) 15:00～16:30

認知心理学の応用～教育・セキュリティを考える～

最終回では、私たち人間の豊かな性質を知った上で、いくつかの認知心理学の知見を教育やセキュリティへと広げる視点を考えていきます。人間の本来の性質を尊重した上で、情報化社会の中で堂々と生き抜くためのコツを見つける時間になりたいと思います。

コース5 : 90分の宇宙旅行 ～信州発宇宙の果てまで～

講師 三澤 透 (信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 准教授)

第1回: 4月21日(土) 13:00～14:30

旅行計画 ～宇宙の構造～

旅を成功させるためには綿密な計画が必要です。そこで初回は、これから訪問する宇宙の広がりや、国立天文台が開発したデジタル宇宙ビューワー『mitaka』を使って実感していただきます。地球を飛び立つと、そこには惑星の世界、星の世界、そして銀河の世界が広がっています。宇宙で迷子にならないよう、しっかりと広大な宇宙の構造をおさえておきましょう。

第2回: 5月19日(土) 13:00～14:30

1千光年の宇宙旅行 ～太陽系外惑星～

広大な宇宙を扱う天文学において、太陽系内の天体は「ごく近所」という扱いです。地球のような「惑星」は太陽の周りにしか存在しないのではないかと考えられていた時代もありますが、現在では、他の星のまわりをめぐる惑星が3,700個以上も発見されています。まずは太陽系の「隣町」までハイキングしてみましょう。太陽系ではみられないような“お行儀の悪い”惑星たちの存在に気付くことになります。

第3回: 6月9日(土) 13:00～14:30

1万光年の宇宙旅行 ～超新星爆発～

太陽のような燃え盛る天体(恒星)は、銀河系(天の川)の中におよそ二千億個もあると言われています。その一つ一つが、私たちのようにどこかで誕生し、成長し、やがて天寿を全うする運命にあります。その最期に「超新星爆発」という華やかな(そして危険な)大爆発を起こすものもあります。爆発は一回しか起こりませんが、ちょっと工夫をすると数百年前に観測された超新星爆発の様子を再び観測することができます。

第4回: 6月30日(土) 13:00～14:30

100億光年の宇宙旅行 ～銀河中心ブラックホール～

数千億個の星の大集団である「銀河」は、宇宙全体で見ると無数に存在しています。それぞれの銀河が個性を持っており、渦巻き型の他にも、楕円型のものや形が大きく歪んだものなど様々です。立派に成長した銀河の中心には巨大なブラックホールが存在することが知られています。そしてこのブラックホールが、銀河の成長をコントロールしているようなのです。影の司令塔「銀河中心ブラックホール」の謎に迫ります。

第5回: 7月21日(土) 13:00～14:30

138億光年の宇宙旅行 ～加速膨張する宇宙～

最終回ではいよいよ宇宙の「果て」を目指します。遠くの銀河ほど高速で遠ざかっていることが知られていますが、これは宇宙全体が膨らんでいることを意味します。そしてどうやら膨張速度は加速しているようなのです。一方、過去に遡ると宇宙のサイズはどんどん小さくなっていきます。宇宙の始まりはどのようなものだったのでしょうか? 昨年ノーベル賞受賞研究で脚光を浴びた「重力波」が解明の鍵を握りそうです。

コース6 : 「シンデレラ」の秘密

講師 株丹 洋一 (信州大学名誉教授 元教養部および人文学部)

今も世界中で読み続けられている「シンデレラ」のさまざまな類話を比較しながら、そのルーツを現代から近代、中世、古代へと辿り、「シンデレラ」が何万キロという空間と何千年という時を超えて現代に語り継がれてきた秘密を探ります。この講座は、教員免許状更新講習で長野県内の多くの教員の方から高評をいただいている講習と同様の内容です。

第1回：4月21日(土) 13:00～14:30

ディズニーの「シンデレラ」とグリムの「灰かぶり」

まずは、20世紀半ばにアメリカで制作されたウォルト・ディズニーのアニメーション「シンデレラ」から始めて、19世紀ドイツで書かれたグリム「灰かぶり」へと読み進めましょう。

第2回：5月19日(土) 13:00～14:30

ペローの「サンドリオン」とバジールの「シンデレラ猫」

続いて、ドイツのお隣フランスのペロー「サンドリオン」と、そのお隣イタリアのバジール「シンデレラ猫」を読み進めましょう。

第3回：6月9日(土) 13:00～14:30

日本の「粟福(糠福)」と中国の「葉限」

続いて、目を西洋から東洋に向けて、日本に伝わる「粟福(糠福)」と、お隣中国に伝わる現存する最古のシンデレラ物語といわれる「葉限」の物語を読みましょう。

第4回：6月30日(土) 13:00～14:30

古代ローマのアプレイウス「アモルとプシュケー」

さらに時を遡って、2世紀のローマ帝国で書かれたアプレイウス「アモルとプシュケー」を読みましょう。

第5回：7月21日(土) 13:00～14:30

ギリシア神話の「エディプス」と原始社会のシャーマン

さらに時を遡り、「シンデレラ」とギリシア神話のエディプス・原始社会のシャーマンとの関係を探ります。

コース7：短編小説の名作に酔う

講師 株丹 洋一（信州大学名誉教授 元教養部および人文学部）

優れた短編小説は、年代物の赤ワインのように、私たちに酔いしれさせ、今日生きている喜びと明日を生き抜く力を与えてくれます。それは、他では得がたい深い喜びと強い力です。土曜の午後のひと時、レディーグレイの紅茶を飲むように、満ち足りた時間を過ごしませんか。この講座は、信大生に好評を博した「文学ゼミナール」から精選した内容になっています。

第1回：4月21日（土） 15:00～16:30

芥川龍之介「蜜柑」に酔う

大正7年（1918年）、芥川龍之介が26歳の時に書いた作品。

キー：主人公の「私」は、少女の投げた蜜柑に何を見たのだろうか？

第2回：5月19日（土） 15:00～16:30

ヘミングウェイ「インディアンの村」に酔う

1924年、ヘミングウェイが25歳の時に書いた作品。

キー：ニックは、この後、どういう人生を送るのだろうか？

第3回：6月9日（土） 15:00～16:30

川端康成「ざくろ」に酔う

1943年、川端康成が44歳の時に書いた作品。

キー：きみ子が「泣きそうな幸福」を感じたのは、なぜ？

第4回：6月30日（土） 15:00～16:30

メリメ「トレドの真珠」に酔う

三島由紀夫が「文章読本」の中で、「短編小説の模範的なもの」と評した名作。

キー：チュザンニはなぜ、最後に、トレドの真珠の「美しい美しい顔」を傷つけたの？

第5回：7月21日（土） 15:00～16:30

夏目漱石「火鉢」に酔う

明治42年（1909年）、漱石41歳の時の作品。

キー：主人公の「自分」が、最後に初めて、「一日の温かみ」を覚えたのはなぜ？

コース 8 : 日本語に関して学び日本語教育に親しもう

講師 上條 厚 (信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 元教授)

このコースの目標は、言語学として日本語に関して学ぶことと、外国人に対する日本語教育に関して学ぶことです。言語学には、音声・文法・語彙の3つの柱がありますが、まずそれについて学び、その後、日本語教育について学びます。日本語の文字・表記についても学びます。

この講義は短時間であり、全くの初歩を学ぶだけであることをご了解ください。最低開講人数は8名です。

第1回：4月21日(土) 13:00～14:30

音声学

例えば、アイウエオの発音の中にも地方による違いがあります。特に違うのはどれでしょう。また発音が違うのに支障なく通じるのはどうしてでしょう。自分自身の発音を振り返りながら音声について学びます。

第2回：5月19日(土) 13:00～14:30

日本語文法

文法にも興味深い事項があります。例えば、「本を読んでいる」「手紙が来ている」、それぞれの「ている」の意味内容には違いがありますが、どういう違いでしょうか。こうした文法にかかわることを学びます。

第3回：6月9日(土) 13:00～14:30

語彙

語彙とは語の集まりのことです。「あつい(暑い・熱い)」の反対は何でしょうか。普段の生活で和語と漢語はどちらを多く使っているでしょうか。(数え方次第でどちらも1番になる)こうした語彙に関することを学びます。

第4回：6月30日(土) 13:00～14:30

日本語教育(1)

日本語を知っているからといって、外国人に日本語をうまく教えられるとは限りません。日本語教育をする上で知っておくべき初歩的なことを学びます。教授法の一つである直説法の実演もしてみます。

第5回：7月21日(土) 13:00～14:30

日本語教育(2)・日本語の文字・表記

前回の続きをします。教授法の一つであるTPRの実演もしてみます。仮名ばかりで書いた文と漢字交じりの文では、どちらが読みやすいですか。それは漢字仮名りの方でしょう。日本語の表記の利点などを見ます。

コース9 : 天草版平家物語を読んで往時の日本語を知ろう

講師 上條 厚 (信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 元教授)

室町時代末期、ポルトガル人を始めとした外国人が多数日本に来ました。かれらの目的は日本支配・キリスト教化でしたが、日本語の学習のためにローマ字書きの文献を残しました。それらは当時の日本語を知る上で貴重な資料となっています。「天草版」は天草で発行されたことに名前の由来があります。それらの文献の一つ、天草版平家物語を読んで、当時の日本語の片鱗に触れようと思います。

内容の性格上、全くの初歩から始めますので、ご承知おきください。

第1回：4月21日(土) 15:00～16:30

冒頭を読み室町末期～江戸初期の発音を知る(1)

前書きの部分に少しだけ触れてから、本文に入ります。ローマ字書きのものを最初から読みますが、少し読むだけで、発音に現代日本語と相当な違いがあることに気付くでしょう。本文の最初の1ページを読むだけで違いの大部分が出て来ます。それらを現代の方言とも関連付けながら見ていきます。語法にも当然現代語とは違いがあります。語法にも気を付けながら、内容を理解していきます。以下、これを続けます。

第2回：5月19日(土) 15:00～16:30

冒頭を読み室町末期～江戸初期の発音を知る(2)

1回目に続いて読み進めていきます。

第3回：6月9日(土) 15:00～16:30

発音・語法に気を付けて読み進める(1)

読み進めます。

第4回：6月30日(土) 15:00～16:30

発音・語法に気を付けて読み進める(2)

読み進めます。

第5回：7月21日(土) 15:00～16:30

発音・語法に気を付けて読み進める(3)

読み進めます。

コース10：入門中国語会話

講師 李 丹丹（信州大学全学教育機構 非常勤講師）

言語の基礎を少し知っておくだけで、中国の歴史や文化の理解が大きく進みます。中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）から学習し、しっかり発音を確認しながらシンプルな中国語会話を学びます。

中国語の学習経験が全くない方にも受講していただけます。

テキスト：荒川清秀、張筱平、上野由紀子著『新訂・シンプルに中国語』（2016年新訂初版発行、同学社、2300円）。

テキストを準備するのが難しい方は担当講師が代りに取り寄せることが可能です。早めに問い合わせ先（学務部学務課）にご相談ください。

第1回：4月21日（土） 15:00～16:30

発音篇①

1. 声調
2. 単母音
3. 複母音①
4. 子音①
5. 基礎会話：第一課：你好（こんにちは）

第2回：5月19日（土） 15:00～16:30

発音篇②

1. 複母音②
2. 子音②
3. 基礎会話：第二課：这是什么（これは何ですか）

第3回：6月9日（土） 15:00～16:30

会話篇①

1. ピンインの総復習
2. 基礎会話：第3課：请喝茶（お茶をどうぞ）
3. 役割分担で会話練習をします。

第4回：6月30日（土） 15:00～16:30

会話篇②

1. 基礎会話：第4課：十五块（十五元です）
2. 役割分担で会話練習をします。

第5回：7月21日（土） 15:00～16:30

会話篇③

1. 基礎会話：第5課：明天我有课（明日授業があります）
2. 役割分担で会話練習をします。
3. 総復習

コース11：ニュースで学ぶ中国語(中級)

講師 李 丹丹 (信州大学全学教育機構 非常勤講師)

中国語のニュースを取り上げ、リスニングに挑戦し、ニュースで幅広く使われる独特の表現を学びます。また、ニュースの内容について、解説の後、皆でディスカッションし、会話能力や中国事情への理解度を高めます。

テキストは不要で、テーマごとにプリントを配布します。

第1回：4月21日(土) 13:00～14:30

中国特色的商品房现状/北京奥运村房价每平三万一千元

住宅販売に関するニュースを聴き、ディスカッションします。

第2回：5月19日(土) 13:00～14:30

日元汇率升破九十六/中国电子商务市场增长迅速

経済ニュースを聴き、ディスカッションします。

第3回：6月9日(土) 13:00～14:30

日本警方全力打击汇款诈骗/三名日本科学家获得诺贝尔物理学奖

日本に関するニュースを聴き、ディスカッションします。

第4回：6月30日(土) 13:00～14:30

上海人均可支配收入全国居首/广州自认“中产阶级”者仅三成

収入に関するニュースを聴き、ディスカッションします。

第5回：7月21日(土) 13:00～14:30

中国对美出口增速降至个位数/刘德华承认结婚

国際ニュースと芸能ニュースを聴き、ディスカッションします。

コース12：北部フォッサマグナ、千曲川・信濃川流域の地質と災害を学ぶ

講師 大塚 勉 (信州大学 総合人間科学系 全学教育機構 教授)

信濃川は、信州を源として日本海に至る、我が国でもっとも長い河川です。流域のほとんどがフォッサマグナ地域に含まれ、そこでは、地質の特性と発達する活断層によって災害が頻発しています。本教室では、第1回(4月14日)として室内で地質と災害、さらに自然利用について学びます。次いで第2回(5月12日・13日)として、貸し切りバスを利用して実際に現地を訪れます。

第1回：4月14日(土) 10:30～12:00

北部フォッサマグナ、千曲川・信濃川流域の地質と災害について

長野盆地から日本海まで流れる千曲川・信濃川に沿って続く「信濃川断層帯」の地形・地質についてまず学びます。長野盆地は活断層の運動によって形成されました。また、千曲川の浸食と活断層の運動の相互作用によって、「先行河川」が形成されています。

活断層の運動によって、千曲川・信濃川流域では善光寺地震や中越地震などが発生してきています。さらに、活断層が作った地形は、「戌の満水」をはじめとする洪水や地附山地すべりなどの土砂災害を引き起こしています。

そのような場所で人々は、自然条件に柔軟に対応して生活の場を築いてきたほか、最近では大規模な河川改修を行って生活環境を変えてきています。

千曲川・信濃川に沿う地域の地形・地質条件と人の生活との関係を学びます。

第2回：5月12日(土)・13日(日)

北部フォッサマグナ、千曲川・信濃川流域の地質と災害、自然利用に関する現地見学

第1回の講座で学んだ事例について、実際に現地を訪れて理解を深めます。行程は下記の2日間で、貸し切りバスを利用します。日本海に面した長岡市寺泊に宿泊します。

5月12日(土)

1. 長野盆地の地形 姨捨サービスエリア 千曲市
2. 地附山地すべり 長野市
3. 立ヶ花の活断層地形と長野盆地出口の狭窄部 長野市豊野
4. 木島平村栄町 平塚 高社山山体崩壊の流れ山
宿泊 長岡市寺泊

5月13日(日)

5. 信濃川大河津分水河口 信濃川大河津資料館
6. 自然堤防 長岡市中城新田
7. 中越地震 長岡アーカイブセンター「きおくみらい」
8. 中越地震 長岡市妙見崩壊地
9. 南長岡・片貝ガス田 国際石油開発帝石(外から)

(予定作成後の現地の状況の変化によって変更されることがあります。)

【注意】受講料以外にバス・高速代(参加者で均等割)、2食付き宿泊費(13,000円)、昼食代(2回)、保険料などをご負担いただきます。定員いっぱい(25名)のお申し込みをいただいた場合、お一人様のご負担額は約28,500円となります。詳細は事前にご連絡し、第1回目の講座のときにご用意いただきます。

■ 受講料 (テキスト代、資料代、交通費等は含みません。)

コース番号	コース名 (講師名)	受講料
1	食からみる脳の健康づくり (有路 憲一)	コース1～ コース11 6,400円
2	『くまのパディントン』を英語で楽しむ! (近藤 富英)	
3	数字を読む技術 アナログ脳を活性化しよう (鈴木 治郎)	
4	「IoT時代」の認知心理学を考える～心理学を日常生活に活かす～ (藤川 真美乃)	
5	90分の宇宙旅行 ～信州発宇宙の果てまで～ (三澤 透)	
6	「シンデレラ」の秘密 (株丹 洋一)	
7	短編小説の名作に酔う (株丹 洋一)	
8	日本語に関して学び日本語教育に親しもう (上條 厚)	
9	天草版平家物語を読んで往時の日本語を知ろう (上條 厚)	
10	入門中国語会話 (李 丹丹)	
11	ニュースで学ぶ中国語(中級) (李 丹丹)	
12	北部フォッサマグナ、千曲川・信濃川流域の地質と災害を学ぶ (大塚 勉)	7,400円 (別途 旅行代金約2～3万)

■ 開講日時の日程表

開講日時	I (10:30～12:00)	II (13:00～14:30)	III (15:00～16:30)
4月14日(土)	大塚(第1回)		
4月21日(土)	近藤・鈴木 (第1回)	有路・三澤・株丹6・上條8 李11(第1回)	藤川・株丹7・上條9 李10(第1回)
5月12日(土) ・13日(日)	大塚(第2回、1泊2日の見学旅行)		
5月19日(土)	近藤・鈴木 (第2回)	有路・三澤・株丹6・上條8 李11(第2回)	藤川・株丹7・上條9 李10(第2回)
6月9日(土)	近藤・鈴木 (第3回)	有路・三澤・株丹6・上條8 李11(第3回)	藤川・株丹7・上條9 李10(第3回)
6月30日(土)	近藤・鈴木 (第4回)	有路・三澤・株丹6・上條8 李11(第4回)	藤川・株丹7・上條9 李10(第4回)
7月21日(土)	近藤・鈴木 (第5回)	有路・三澤・株丹6・上條8 李11(第5回)	藤川・株丹7・上條9 李10(第5回)

■ 開講場所

信州大学 全学教育機構内(松本キャンパス) 〒390-8621 松本市旭3-1-1

■ 申込方法

「コース1～11」と「コース12 大塚コース」とは申込方法が異なります。以下の手順に従ってお申込みください。 (※「コース12 大塚コース」は昨年度までの申込方法と異なります)

1. 「コース1～11」の申込方法

(1) 申込方法

パンフレットに添付の「振込用紙」での入金をもって申込みとさせていただきます。

(2) 受講料の入金

受講を希望されるコース番号に丸をして、郵便局・ゆうちょ銀行からお振込みください。振込手数料は各自でご負担ください。

(3) 申込 (受講料入金) 期限

平成30年3月22日 (木)

※ 紛失等で「振込用紙のない方」はハガキかFAXで、①郵便番号と住所 ②氏名 ③電話番号 ④「土曜市民 振込用紙希望」と明記の上、「信州大学 学務部学務課教務グループ」(〒390-8621 松本市旭3-1-1 FAX:0263-36-3044)宛にお送りください。後日郵送でお送りいたします。

2. 「コース12 大塚コース」の申込方法 ※バス利用のため、定員があります。

(1) 応募方法

ハガキ裏面に①郵便番号と住所 ②氏名 ③電話番号 ④「平成30年度土曜市民 コース12 大塚コース希望」と明記の上、「信州大学 学務部学務課教務グループ」(〒390-8621 松本市旭3-1-1)宛にお送りください。ハガキ以外による受付はできません。

応募期限 平成30年2月23日 (金) (当日消印有効)



(2) 受講者の決定

定員は25名です。応募多数の場合は抽選で受講者を決定し、結果は応募者全員に3月6日(火)までに郵送でご連絡いたします。



(3) 受講料の入金

当選者には「専用の振込用紙」(振込期日あり)を同封して郵送しますので、郵便局・ゆうちょ銀行から受講料を振り込んでください。入金をもって申込みとさせていただきます。振込手数料は各自でご負担ください。

- ・必要事項の記載がないハガキは無効となる場合があります。
- ・残念ながら抽選に漏れてしまった方はキャンセル待ちとさせていただきます、欠員が出た場合はこちらから連絡する場合があります。

■ その他（全コース共通）

- ・一旦入金された受講料は原則として返金出来ませんのでご注意ください。
- ・各コースとも原則として6名以上の申込みで開講となります。最低開講人数に達しない場合は開講しない場合がありますのでご確認ください。この場合、受講料はご指定の口座に返金いたします。
- ・期日までに申込手続きを完了した方には受講決定者として、受講10日前までに「受講確定の案内」を送付いたします。

■ 問い合わせ先（申込み等について）

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学 学務部学務課教務グループ 井上・齋藤

TEL: 0263-37-2870 FAX: 0263-36-3044 (受付時間: 平日9時~16時)

■ さらに詳しく講義内容・教室等について知りたい場合の問い合わせ先

◎ 土曜市民教養教室世話人会

大塚 勉 (代表) TEL: 0263-37-2912 (研究室) MAIL: otsukat@shinshu-u.ac.jp

勝木明夫 (副代表) TEL: 0263-37-3062 (研究室) MAIL: akatuki@shinshu-u.ac.jp

〈〈 最近の開催講座 〉〉

平成25年度

- | | |
|----------------------|-----------|
| ・新しいクマのプーさんの物語を楽しむ | 講師 近藤 富英 |
| ・日本語に関して学び日本語教育に親しもう | 講師 上條 厚 |
| ・生きる脳 — 健康な脳の作りかた | 講師 有路 憲一 |
| ・巨大地震を起こした活断層を現地で見る | 講師 大塚 勉 |
| ・光と色の世界にふれよう | 講師 勝木 明夫 |
| ・ライトノベルでたどる数学の世界 | 講師 鈴木 治郎 |
| ・みんなで数学史を見てみよう! | 講師 高野 嘉寿彦 |
| ・中国語入門と初級 | 講師 松岡 俊裕 |
| ・中国語中級 | 講師 松岡 俊裕 |

平成26年度

- | | |
|-------------------------|----------|
| ・高校理科でたどる宇宙の歴史 | 講師 三澤 透 |
| ・脳からみる健康づくり | 講師 有路 憲一 |
| ・数字をかしく読もう 数字に騙されない知恵とは | 講師 鈴木 治郎 |
| ・光と色の世界にふれよう | 講師 勝木 明夫 |
| ・日本語に関して学び日本語教育に親しもう | 講師 上條 厚 |
| ・糸魚川—静岡構造線と丹那断層を現地で見る | 講師 大塚 勉 |
| ・クマのプーさんの物語を楽しむ | 講師 近藤 富英 |

平成 27 年度

- ・気分はいつもクマのプーさん
- ・数字をかしこく読もう 数字に騙されない知恵とは
- ・糸魚川ー静岡構造線北部の災害史を学ぶ
- ・食と栄養：脳からみる健康づくり

講師 近藤 富英
講師 鈴木 治郎
講師 大塚 勉
講師 有路 憲一

平成 28 年度

- ・毎日が冒険！パディントン
- ・数字をかしこく読もう 数字に騙されない知恵とは
- ・下仁田ジオパークと世界遺産
- ・食と栄養：脳からみる健康づくり
- ・簡単に分かる生活の中の科学
- ・光と色の世界にふれよう
- ・みんなで数学史を見てみよう！
- ・日本語に関して学び日本語教育に親しもう
- ・天草版平家物語を読んで往時の日本語を知ろう

講師 近藤 富英
講師 鈴木 治郎
講師 大塚 勉
講師 有路 憲一
講師 村上 好成
講師 勝木 明夫
講師 高野 嘉寿彦
講師 上條 厚
講師 上條 厚

平成 29 年度

- ・くまのパディントンとロンドンを楽しむ！
- ・数を読む技術 アナログ脳を活性化しよう
- ・天竜川流域の地質ー伊那谷から太平洋まで
- ・食と栄養：脳からみる健康づくり
- ・旅する中国語（初級～中級）
- ・天草版平家物語を読んで往時の日本語を知ろう

講師 近藤 富英
講師 鈴木 治郎
講師 大塚 勉
講師 有路 憲一
講師 李 丹丹
講師 上條 厚



主催 信州大学全学教育機構 SGE

